

1. 件 名：原燃輸送（株）による核燃料輸送物設計承認申請（NFT-14P型）に係るヒアリング（2）
2. 日 時：令和5年7月24日（月）13時30分～15時30分
3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※はTV会議システムによる出席）
原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門
松本企画調査官、日坂管理官補佐※、甫出安全審査官、小野安全審査官、
山後安全審査官、山口係員
原燃輸送（株）
設計・開発部長 他6名（うち2名※）
三菱重工業（株）
機器設計部 主席技師※
5. 自動文字起こし結果：別紙のとおり
音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。
6. その他：
【原燃輸送（株）からの配布資料】
資料 NFT-14P型核燃料輸送物の核燃料輸送物設計承認申請に係るコメントへの回答について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	それでは、原燃輸送株式会社との面談を開始いたします。
0:00:07	不開示情報については発言をしないように注意をお願いします発言してしまった場合には、その場で指摘をしてください。
0:00:15	発言の際には所属と氏名をお願いいたします。
0:00:19	それではですね、
0:00:24	資料の説明を進めながら質疑を行っていきたいと思いますので、原燃輸送側から、
0:00:33	説明の回収をお願いいたします。
0:00:37	はい。それでは原燃輸送の野島が説明させていただきます。
0:00:43	前回のヒアリングにて受けたコメントを受けましてその回答をまとめた資料をご用意させていただいております。
0:00:52	まずナンバー1ですけれども、フッ素ゴムの商社、
0:00:59	経年変化のところですね照射 8 日で累積照射量が、
0:01:04	2.0×10^{-4} 乗ぐらいという値が他部の部材と、
0:01:08	60 年評価の比較ってのは直感的に大きいでしょ。
0:01:12	これについて数値再確認の上で、評価保守性についてちょっと、
0:01:17	4 ページ飛びまして、
0:01:25	ここでの評価ではですね 14P型で蓋部と水位調整用勝バルブ、ベント水張バルブ、及びベントバルブのOリング。
0:01:35	ボーリングを使用しておりまして、その中でも最も累積照射量が高いベント水中バルブの
0:01:43	オービックの評価結果を安全規制、解析処理期待して、
0:01:49	数値確認したところ数値に問題はなかったです。
0:01:53	また評価の保守性については、以下の通り考えてましてまずは評価期間を保守的に 1 年間の連続照射を考慮していること。
0:02:05	あとはですねこのオレンジ色で示しております。範囲の線量を、の数値をさらってですね、
0:02:15	その中で、最大値となる数値をとってきておりまして、実際にフッ素ゴムの設置位置に対して、保守的な井関照射量となっていることを確認。
0:02:28	しました。
0:02:35	これは、
0:02:37	オノさんよろしいですか。うん。いいですけど。
0:02:40	どれぐらいですか実績としては、
0:02:43	過去、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:44	年間どれぐらい。
0:02:48	3ヶ月とか半年とか、
0:02:51	ですね。
0:02:54	これすべて
0:02:58	要は、経年変化を評価するときの熱とか放射線とか、すべてにおいて保守大前提になると思うんですけど、そこを踏まえた上で、1年ということであれば、
0:03:09	ただここはあまり余裕がないんで、そこを十分確認しておく必要があるかなということで、
0:03:15	半年ぐらいですか。
0:03:18	鳥栖そうですね、実際はここは、
0:03:25	バルブの点検とかの際にですね交換するようにしております、
0:03:33	実際はそうですねとレイグ。
0:03:38	燃料の54kWの、
0:03:42	燃料使用でやっておりますのでそこにも評価、
0:03:46	ある。
0:03:47	保守性はあると。
0:03:50	いや、機関、輸送、輸送機関、輸送機関、輸送機関は3ヶ月だからわからないですかね。
0:03:59	年間。
0:04:01	要は収納物が入ってる状態輸送物の形というかそれに準じた形のもの は3ヶ月ぐらいと、そういうことで、要は、
0:04:11	実際はさ、現実的に見ればこれの4分の1ぐらいで、さらに、
0:04:19	これ、どれぐらい最高、一番高いところっていうことで、このエリアの中で ね、選択されたということであろうと思うんですけど、どれぐらい差異が ちょっと何かちょっとわかりませんが、
0:04:32	少なくとも、3倍から4倍の
0:04:35	3ヶ月であれば4倍の裕度はあると、そういうふうに理解してよろしいで すか。はい。
0:04:41	はい。
0:04:41	規制庁サンゴですけれども、少なくとも1年以内には取り出すということ でいいんですかね。
0:04:49	輸送機関を含めて、輸送物の状態にあるということを言ってるのもあり ますけれども、
0:04:55	施設内に置いてあっても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:59	この状態であるというふうなことを考えると、
0:05:02	1年以内に必ず取り出すと、そういうことでよろしいですか。
0:05:10	今野安全社長はそっち。
0:05:18	ちょっといい。いいですはい。
0:05:28	知った。
0:05:32	どうぞ、何か続けてくださいっていう。ちなみに、
0:05:39	この
0:05:40	機械的特性の変化って書いてあるんですけど、機械的特性ですかこれ、よくよく見ると、
0:05:49	特性、
0:05:51	ここで
0:05:55	要は、1の方、6掛け10の避難所という値が書かれてますけども、この節、これ本部に書かれてるんですよ。機械的特性の変化に伴う、密封性能への影響という、
0:06:10	ここで押さえて特性の変化というのは、
0:06:17	何でしょう、ゴムの
0:06:19	こう潰して戻す。
0:06:22	戻り反力のことを、機械的特性の変化層、
0:06:26	だから、性状の変化ですよ、というふうに理解してよろしいですか。
0:06:32	そう。
0:06:32	河成上、
0:06:36	わかりました。
0:06:40	要は、
0:06:41	かたくなったりなんかするっていうことでしょうか結局、
0:06:44	男性、要は男性がなくなるって言ったらかしい、圧縮永久ひずみが出て、
0:06:51	要は戻らないと。
0:06:52	はい。戻らなくなると考えられるっていうことですよ。そうですその通りですということよろしいですかはい。
0:07:02	私の方がいいですよ。
0:07:05	はい。
0:07:07	長谷庄野です。
0:07:09	今のところろうとかね。
0:07:12	1ヶ月もん。
0:07:15	井関照射線量自体が、何のデータをもとに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:20	どこも高い話。
0:07:23	高井。
0:07:26	鳥居。
0:07:27	高井っていう、
0:07:30	あとお今回ボーリングの話になってるんですが、申請書を見るとその他の線のところで、
0:07:37	基本的に最も高いところで評価して累積なり、
0:07:42	照射量が、このぐらいでしたらだから判定値に対して下回ってるから大丈夫ですっていう形に、申請書類を記載していただいているんですが、そもそも
0:07:52	放射線の照射量で、
0:07:55	はい。
0:07:56	どのように評価してるのかっていうのはちょっと申請それから見えない。
0:08:00	ご説明していただけないか。
0:08:03	はい。
0:08:04	これは衛藤吉尾Dの遮へい解析において、
0:08:16	線量当量率評価。
0:08:18	やっております、
0:08:20	そのなかーで出てきた数字。
0:08:24	が各部位ごとに出てくるんですということとか、部位で出てくるんですけれども、
0:08:30	例えばベント水位調整ばるーですと、ここの辺りの
0:08:38	線量当量、こう出てくるので、
0:08:41	そこをピックアップして、
0:08:44	最も高いところ、
0:08:48	比較して、
0:08:50	累積 60 年。
0:08:52	換算ですから、
0:09:03	類とか、全部遮へい解析からの、
0:09:06	そうですね。
0:09:08	はい、そうですその通りです。
0:09:15	数値全部あれする必要はないと思うんですけどね。
0:09:23	少なくとも、その文章では何か今のことを言ってもらった方がいいのかなと思うんですね、規制庁ホデですけどすみません。
0:09:34	要は普通であれば、多分、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:36	ニュートロンであれば、例えばその中性子のつその部位を通過する量たらおかしいですけどそういうもんだと思うし、 γ であれば多分尖足だと思っうんですね。
0:09:52	多分、そんなところの値ってもう遮へい解析には、要は、線源の強宣言でご意見で出てきたものに、幾つかいろいろエフェクティブとか何とかで処理をしたものというところ。
0:10:06	から、それを基づいて中性子の球の数が幾つそこには、通過する球の数幾つ出してると思っうんですけども、
0:10:18	多分 γ だったら、今度は洗足だと思っうんですね。それを事実ちょっと確認していただきたいと思っいますけども。
0:10:25	ここであれば、今の話である遮へい解析で、られて当該の部分のこれこれとは、最も高いところで、
0:10:35	幾つぐらいというふうなことを言ってもらえればいいのかと思っいます。
0:10:42	はい。今日、
0:10:44	文章、
0:10:47	基本的な計算としては、どっちを見ていて、先ほどおっしゃったような粒子の数、
0:10:54	この小路向井換算係数アスペクトの合わせて、シーベルトパーアワーシゲマスCDFとパワーのアワーの部分は 60 年間管理し、
0:11:04	シーベルトの部分は 1 シーベルト以降 1Gyの間ちょっと保守的なケースで増えまして、最終的にはこの分析編集者制度これ 1 年ですけど、
0:11:15	パートの、
0:11:16	ちょっとその 1 年に関して、CVスプレイ、
0:11:20	ちょっとそれで、
0:11:22	この修正、はい。
0:11:23	わかりました。
0:11:25	ですから、今、
0:11:29	具体的にすぐこのあたりを言いましたってところまでは、あれだ、不要だと思っうんですけども、例えば社員解析出られた、これ
0:11:41	の計算においてえられている当該部位の何とかはっていうことで、よりと、最大でも幾つですよっていうふうなことがよくわかるように、
0:11:50	しといていただければいいのかなと思っいます。
0:11:54	それは承知します。
0:11:59	安保さん、いいですか。
0:12:03	また確認させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:07	ちょっと前後関係はもらえない。支社系解析の結果をもとに、
0:12:12	線量放射線の劣化を出す。
0:12:19	それによって遮へい部材が劣化しないかどうかもし、解析する。
0:12:24	評価してるんですよね。
0:12:26	書類の遮へいの分については、
0:12:29	評価してるんですけど、その前後関係がよくわからない。
0:12:33	解析が財源、
0:12:35	NS解析がまずあります。
0:12:39	吸収性の性能率が出てきます。
0:12:42	その線量率を抽出監査したのは先ほど先生。
0:12:46	そこで出てきた吸収線量当量率を文献とかと比較して、この吸収線量ま では、物性値がさ、或いはそういう中性子の放射化を、
0:12:56	この程度を見て、
0:12:58	それ中性子でも何か、
0:13:01	原則変わるんだったらそんなに、
0:13:03	ちょっと別とか、だから、
0:13:06	大丈夫と。
0:13:10	判断される線量よりも1桁2人が小さいとか何か者情報とする必要は ない、或いは、そこで何かちょっと物性値が変わるっていう、あれ、そう だよ。それ総合解析に、
0:13:22	それ、
0:13:29	今回はですね社員不在に対しては特に、
0:13:33	郡さんなんか、
0:13:36	そうですね射程部材としては、成長。
0:13:42	仮にあったとすると、その最初の遮へい計算、フィードバックかけてまた やり直しですけど、
0:13:48	そうですね。
0:13:49	そうですね熱劣化の方はそうですね、多分、各部、そのレジン層に入 る本とか、まず出てきて、その温度だったらどれぐらいその水、水が抜 けるだろうっていうのは、
0:14:01	評価になって、その結果熱解析で、じゃあ遮へい解析にその減損を与 えるということをしてますので遮へいの方、影響で、もし仮にその、
0:14:12	何か現存があるとなったら、それを繰り返しやることになる。そのイメ ージです。ありがとうございます。
0:14:20	です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:30	要は2番目。はい。弁護士は、
0:14:33	材料、これも藤堂塩谷の経年変化のところですけども、材料に影響を与える温度としてクリープによる変形がない温度が記載されているが、
0:14:43	これらの温度の出展や考え方について説明すること。
0:14:46	また、都道の評価基準値に対して余裕がないとおっしゃってるのかということで、右の方に回答をさせていただいておりますけれども、
0:14:57	材料の融点の3分の1まではクリープによる変形は生じないということが括弧一位に示しております文献でAと言われておまして、
0:15:09	この知見に基づきましてクリープによる変形を考慮する必要のない範囲ということを設定しております。
0:15:15	なお、いう点も、以下の出店。
0:15:19	によって
0:15:22	まず、知見に基づき、いう点も考慮してます。
0:15:26	この旨をですね説明するように、熱的劣化のところのASRも修正させていただこうと考え、
0:15:38	また藤堂の方ですけども、童話電熱日使用されていますけれども、
0:15:46	一般の試験条件における熱解析においてですね、電熱品の温度は、
0:15:52	崩壊熱を軸方向側を断熱とした輪切り版ピッチモデルというものを使って熱解析をやっておりますので、評価に大きな保守性を有しているという、
0:16:05	ことが考えられます。
0:16:17	はい。
0:16:18	わかりました。
0:16:25	そして3番ですけども、レジの現存量について
0:16:32	老障Fでの評価に基づいて、レジ、3.1%減損させて遮へい解析を行ってますけれども、その保守性について説明すること。
0:16:44	ということで、実際の中性子遮へい材の充填空間は、密封系と呼ばれるレジの分解反応が平衡に達する。
0:16:54	体系で、へ、密閉空間なんですけれども、評価上保守的にレジの文化反応が平行とならない体系。
0:17:04	とみなしてレジの現存量を探してきていると。
0:17:08	当レジは半径法、
0:17:11	輸送容器の時計方向に温度分布があるんですけども、評価においては、
0:17:18	一般の試験条件の最高温度のポイントを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:22	ここの持ってきて、
0:17:24	それを活用した条件で評価を、
0:17:27	あとは実際には使用予定年数の連続熱暴露を言えないんですけども、60年装荷されているものとして、評価していると。
0:17:38	いう3点から、レジの検査の評価大きな保守性を有していると考えております。
0:17:47	ということですね。
0:17:49	はい。規制庁のホデですけども。
0:17:53	今、ある程度ご説明いただいたところなんですけども、
0:17:58	密封系と閉鎖系っていうこといきなり出て、
0:18:04	どう違う。
0:18:05	さっき何か簡単にご説明いただきましたけど、
0:18:11	閉鎖系、今回評価してルー方法は、水が蒸気が全部放出されるものとして、
0:18:20	なので、
0:18:22	実際には3点。
0:18:25	3.1%今評価してますけれども、実際には
0:18:29	戻ってくるというか、平衡、ある程度の値で平衡に達する。
0:18:35	んですけども、そこはもう無視して、
0:18:38	全部出てくる。
0:18:39	レジンから出てた水分は全部、
0:18:43	戻らせていくという評価で3.1%。
0:18:47	水分が出ている。
0:18:49	いう条件で評価していると。
0:18:59	規制庁ホデですけどもここに書いてある、片括弧2の文献で、そのあたりは、どのようなこと等が言われてるんですか。
0:19:11	要は、今おっしゃったようなことなのかもしれないけども、
0:19:16	等、そのフリーの状態と大気とフリーで行き来できる状態と閉じ込めた状態で、
0:19:23	具体的に理事の中で、
0:19:27	へえ。
0:19:29	と。
0:19:29	だから、どっか書いてあったかな、酸素の連続供給ところがなかったっけ。
0:19:35	はい。SRニワさんだから、断層の連続供給がないと、なぜ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:42	これは片括弧 2 の報告書言えばいいのかもわかんないですけども、
0:19:47	ないと、なぜ
0:19:52	要はその減損っていうかね、
0:19:55	進まないんですか。
0:19:57	これ(2)の、それこそ、
0:20:00	文献に、このJNESかな、JNESかNUPECの時代のこの報告書を、 に、どのようなことが書かれてるから、
0:20:11	こうなんですよっていうことをちょっと説明いただいたないと、なかなかク ローズしないような、
0:20:20	この報告書には、そこまでの、
0:20:27	在庫だからぐらいの量的な補修性があるかっていうのは書かれてない んですよ。であれば、その酸素の連続供給とか何とかっていうふうな、
0:20:38	個別な印象はあんまり書かないほうがよく、いいんではないかなと思っ たら、正しい表現ではないかもしれないですよ。
0:20:46	だから要は、完全に閉じ込められている。
0:20:49	閉じ込められてそこで、要は何らかの実験をやったら、反応が抑えられ たっていう。
0:20:54	ことと理解するんですけども、そのことが、素直に書かれていれば、
0:21:04	いいと思うしこの説明もそういう説明になるんじゃないかなと、今の申 請書の中の記載もそういうことになるんじゃないかなということなんで、 もう
0:21:15	事実にはこの文献でこういうことがわかっているかいてて、その厳し くなるような条件で、
0:21:23	多分この、この報告書の中に多分、グラフかなんかがあって、現存量の グラフか何か出てるんじゃないかなと思うんですけども、その辺で、この 体系に対して、要は厳しい法の体系で評価しましたと実際はその
0:21:37	実際にそのオチアイ法の体系で評価されてるってということだと思っ てすよね。
0:21:43	であればそういう説明をしていただいて、
0:21:47	行くべきではないかなと思います。
0:21:50	だからその中身を保守性自身のね、ここの内容については、理解をし て、しました。
0:21:58	一応その温度の問題、
0:22:01	あと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:02	何だろう、多分これ 0° 方向の局所的な部分の最高温度ということで、実際に、当然径方向には温度分布を持つし、
0:22:12	これ新方向にも温度分布をもって持つてる熱解析の結果であるから、当然こんな、こんな 100、150 何度になるようなところっていうのは、
0:22:22	ごくごく一部だっていうのは重々承知した上で、
0:22:25	ということなので、
0:22:27	その辺ちゃんとアノは、
0:22:31	要はその評価のポイント 158 度そのものの保守性と、実際にその評価をした、要は現存量評価をして、多分ラーソンミラーパラメーターのベースとなるような実験っておかしいですけども、その辺が、
0:22:45	適正でっていうか、報酬側の試験、試験条件っておかしいですけど、それに基づく評価に、
0:22:54	基づいて評価したら、してもこうですよっていうことでね。
0:22:58	その辺の 2 段構えのことがちゃんと説明できていればいいのかなと思います。
0:23:04	はい、承知しました。ちょっと、
0:23:06	記載を、
0:23:08	改めさしてもらいます。はい。
0:23:10	デンソーの松元ですけど、この所、
0:23:14	前の 2 行のところですね
0:23:17	VIP 系統へ酒、うん。
0:23:19	で、
0:23:20	選出していますよ、ここの説明はもうちょっと充実させる、そうどこに余裕があるのかそうですねだから、いや、余裕があるんだっていうのが、もうにじみ出てくるような感じでね。
0:23:34	言ってもらえれば後の内容と整合するようそれ不足して、この報告書通りだねということでいいと思います。
0:23:42	はい。
0:23:50	はい。
0:23:51	続いて、4 番ですけれども、誤植の経年変化のところ、軽水炉の運転、
0:24:00	中の一次冷却水温度に対して十分低いと。
0:24:04	ので本輸送物では腐食の影響はないと、SR 書いていたんですけどもちょっと説明が不十分だというご指摘をいただきましたので、ここはですね、定量化がわかるように、ステンレスコウノ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:18	化学的劣化に関する記載のところですね、輸送容器内部は排水の平均温度が 180 度未満フナノなやつが、1.39MPa値であり、
0:24:29	過圧水型原子炉の一次冷却水の環境条件、
0:24:35	についても
0:24:36	温度約 325 度で圧力中、
0:24:40	少し程度なので、十分低いと。
0:24:43	いう定量感を書かせて、追記させていただこうかなと思っております。
0:24:47	はい。
0:24:50	山口です。
0:24:53	シェアでございます。
0:24:55	ちょっと今回
0:24:57	温度と圧力を比較して、より環境条件が厳しくない。
0:25:03	ということで説明されてるんですけども、そもそもその判断の基準として、
0:25:09	どういう状況の腐食が進む環境条件としてどちらの方が厳しいかっていうところのちょっと説明が抜けてると思うので、ここ、
0:25:20	説明していただきたいなと思って、この
0:25:25	現行の額、左側現行の記載では温度を上げて説明されてたと思うんですけど、その温度高い方が腐食進むっていうそれは、それもちょっと間として入れていただきたいんですけど。
0:25:38	圧力、
0:25:40	あとはその、
0:25:41	腐食の、
0:25:43	実際、
0:25:46	進みやすいとかそこら辺の関係ってどうなってますか。
0:25:51	上西さん。
0:25:53	まず、温度に関しては、ニイツの分子の、
0:25:59	動きが激しくなって、その分、
0:26:03	アタックする回数が増えますので、定性的なそのものが高いと分子が当たる回数が大きくなるか腐食の、
0:26:10	ドバーツやすくなると。
0:26:12	圧力に関しては、ニイツは、特別あとお金だからといってそこに文書化、変わらないので、
0:26:23	そその圧力が大きいからと言ってその水に接してる部分の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:27	腐食が大きくなるっていうわけじゃないんですけど一応そのニイツが水であり続けるための圧力というのがありますからそこまで書いているというふうな、
0:26:36	スタンスと理解して、
0:26:38	今、
0:26:40	もうちょっとちゃんと、土日を記載する前はもう少し
0:26:45	適切な表現しますけど、1が一般的な、
0:26:50	瀬山です。ありがとうございます。
0:26:53	この高い方が食するっていうことで、その圧力を
0:26:58	上げられてるのであれば、
0:27:01	その人から記載するのであればその関係性っていうのが必要であれば、フジキいただければと思います。
0:27:09	お願いします。
0:27:11	はい、承知しました。
0:27:13	続けてなんですけども、
0:27:17	下水道でそのリスクの腐食が問題とならないことを認識により確認されてるってことですね、入っていられたと思うんですけど、職場問題。
0:27:27	取らないことが確認されてる実績って具体的にはどういう、
0:27:31	内容。
0:27:32	になるんでしょうか。
0:27:36	何を具体的に確認され、
0:27:39	運転実績ってこう書かれてるんですか。
0:27:44	運転時、
0:27:46	単純に運転実績からですね、手書くうが確認されていないので、
0:27:55	それを変えたんですか。
0:27:57	文献も当然
0:27:59	ありますけれどもその文献を、だから、うん、それをリハして生かした方がいってことですね、わかることじゃないかな。
0:28:07	はい。
0:28:11	今回その経年変化、
0:28:13	60、
0:28:16	腐食っていうの、問題ないっていうことを確認されてると思うのでそういうちょっと、
0:28:22	がん的なところも含めて
0:28:25	大丈夫なのかとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:27	その運転実績っていう確認した内容っていうのは、
0:28:31	いただければと思います。
0:28:34	はい、わかりました。
0:28:40	規制庁です。
0:28:41	ちょっと疑問に思った。
0:28:42	前実績っていうお話があったと思うんですけども、運転実績との比較については、
0:28:47	水室というか気質とかそこら辺も考慮した上で、
0:28:51	そのデータを使えるというふうになしていると。
0:28:54	はい、そうです。はい。
0:28:56	入ってる水の摂取とか、若干、
0:28:59	違うんじゃないか。
0:29:01	違うのかもしれない。そこまでは、
0:29:06	確認はしてないんですけど、そういった性質の違いとかを考慮した上で、定年制、こちらは10オク型に変える。
0:29:13	PWRが繋がってるのに1たん沈めてその水を入れると、そういう時点ではもうPWRない水と同じ、若生さんがある程度含まれます。
0:29:23	ものが入って、その時点で一旦同じものを入れて、
0:29:27	ただ、そのあとですねちょっと1回水を、一応ですね、助成というか、ツツミCですね。
0:29:33	水道水ではないと思いますけど、水を流して、ちょっとこうサポートが下がった状態で、実際には動かされる。
0:29:40	井内北田さんの道路が下がって、腐食に対しては軽くなる。
0:29:46	取り返しています。正井としてはそこまで確認した上で記載してますけど、言ったホウ酸濃度が、同等だと考えて、
0:29:55	その状態、ロッドの方で大丈夫。
0:30:00	の中で、東京は音を記載して、
0:30:09	規制庁のサンゴですけども、炉内のホウ酸水濃度とプール水のホウ酸水濃度っていう同じなんですか。
0:30:17	関連も同じじゃないかと思います。ピーターパンいろんな講座ロードって運転中にポートを変えたりするので、
0:30:25	どの時の行動とかっていうのをちゃんと把握するわけじゃないんですけど、
0:30:29	大沢大町って、
0:30:33	ちょっとそれぐらい、もう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:35	しか確認してないです。
0:30:40	プール水の方がホウ酸濃度が高いとかそういったことはないみたいな何かそれぐらいの確認とかも行われてないんでしょうか。
0:30:50	原因者そこまでちゃんと確認してないんですね、してないですが輸送要求先ほど申し上げた通り、
0:30:58	水で置換するので、
0:31:00	予想前。
0:31:02	入ってる水に対しては、
0:31:06	薄井宗さん、能が薄いということは確認して、
0:31:13	規制庁さんのですけれども先ほどの話で水道水ではないと思いますけどという発言あったんですけども、どんな水を入れるかっていうのを設計上決めてあると思うんですけども、
0:31:25	日本、日本勝になったと思いますけど、ちょっと、
0:31:30	地震、
0:31:31	標準水と言わなくてもいわゆる水と言っていいですね不純物とは含まないというふうに考えてよろしいですかね。
0:31:39	相当オオニシ、
0:31:42	というのが、この取り扱いの中で定められていて、使用する人はそれを守っているというふうに理解してよろしいでしょうか。
0:31:52	その認識で。
0:32:07	いいですか。はい。
0:32:10	あれ、いいです。
0:32:12	例えば森野明石は、
0:32:14	安斎衛藤。
0:32:15	特に最後にしよう。
0:32:17	最後に、はい。
0:32:24	じゃ、5番目。はい。お願いします。では5番。
0:32:29	ですけれども、
0:32:30	当初の熱解析のところで、現行のSARの記載では、
0:32:37	一般の試験条件下では、反射材が変形していないとする方が収納物及び緩衝体の最高温度を高く評価できる。
0:32:45	いうふうに書いているんですが、彼女体の変形を考慮しないことが収納物の最高温度を高く評価すると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:52	上で適切な差であることを理解、一方で、緩衝体表面について、85度では、であることを確認する上では、緩衝体の変形を考慮する方が、保守的な評価となるのではないかと。
0:33:05	いうコメントをいただきまして、その回答を
0:33:10	5 ページ、6 ページ。
0:33:18	まず緩衝体の表面の最高温度のポイントが、6 ページの緑、色のポイント。
0:33:27	ですけれども、
0:33:29	この下部緩衝体の建設後爾見の周辺を評価点としています。
0:33:35	この温度評価に際して緩衝体の変形を考慮した場合には、環境温度38度との境界が近くなって38度は一定なので、
0:33:47	そこの距離が近くなることから緩衝体の変形を、
0:33:52	考慮しない場合に比べて考慮した方が、評価点の温度は低くなることが考えられます。
0:33:58	よって衛藤。
0:34:00	人が容易に近づくことができる。表面の1緩衝体表面の最高温度が85度を超えないことの確認に対しては、
0:34:07	変形を考慮しない方が、ご指摘で有田等の評価となる。
0:34:14	規制庁のホデですけれども、まず、今ご説明いただいた、
0:34:19	2番目のパラグラフのところはよく、
0:34:22	意味がわからない。
0:34:27	環境温度との境界が近くなるとか、境界は全部境界じゃないですか。
0:34:35	d緩衝体の変形を考慮しない場合に比べて、評価点の温度は低くなると書いてあるんだけど、
0:34:44	言いたいことは多分奥まってるところが少し、
0:34:48	手前の方に出てくるから、変形することに手前に出てくるかなっていうことだと思うんですけど、ということじゃないかなというふうに判断するんですけど、ちょっとその、
0:34:59	物理的現象を考えてそれで本当に正しいのってというのがちょっと、
0:35:04	という疑問があります。
0:35:06	本来から単純に考えれば、同一の発熱量のものがあって、変形し、変形するっていうか表面積が減ったら、当然その分、熱が出ていく面積減るわけだから、
0:35:18	オンダ駄目じゃないの、多分全体も上がるだろうし、表面についても上がるんじゃないかなあという、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:26	ふうに
0:35:28	考えられるんですけども、それとはちょっと、
0:35:32	今書かれてることが、
0:35:36	ちょっと逆のような感じがするんですけども。
0:35:38	実態としてですね、
0:35:43	どうなのかなと考えると、
0:35:47	要は、ほとんどは、
0:35:49	この容器ってフィンから熱逃げてるわけですよ。
0:35:54	であれば、
0:35:57	その過剰たの面積ってほとんど実際はね、
0:36:01	面積下として考えたとしてもね、
0:36:04	効かないとかね、そういうことじゃないかなという。
0:36:07	ふうなのが真実かなという感じはするんですけども、だから
0:36:14	評価を、今のままでいい、変える必要は全然ないと思うし、感度があるとは思いません。
0:36:21	ただ、本当に書かれてることが事実なのかどうかということで、その辺で少しロジックを考えていただいた方がいいのかなと思います。
0:36:33	書かれていることが正しいということであればその正しいということのさ、正当性するにしていただければいいと思うし、逆に、
0:36:44	その辺木下って、
0:36:46	一つの考え方として表面積が本当にそれで、
0:36:50	通常の間え方が全体をちっちゃくしてから、表面に帰着するようなモデル化をして、いろいろ評価されてると思うんだけど、
0:37:00	実際の落下試験の変形とか何とか考えたら、表面積が減るってことはちょっと考えにくいところも、変形の状態を確認するとね。
0:37:08	というようなところもあると思うので、感度がなく、実際、ここは感度がないとかっていう考え方もあるんじゃないかなと思います。ですから、
0:37:18	物理的意味を十分考えていただいた上で、
0:37:26	ちょっと上の、今回回答いただいたところが正しいか正しくないかということが、ちょっとこちらでもなかなか判断しづらいところがあるんで、そもそも確認したところっていうのは、
0:37:38	面積が減れば、当然、出口が減るから厳しいんじゃないかなっていう考え方で、こちらの事実確認したということがあって、その辺に対して、
0:37:50	計算のやり直しとか何とか事故、こう考えているんで、
0:37:54	例えば変形考慮しなくても問題ないっていうことでもいいし、別にこれ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:00	感度がないから、感度がないから、例えば、変形は考慮しないものとしたという言い方でも結構ですし、
0:38:10	例えばこちらの方が確実に保守側だっていうことが言い切れるのであればそれでいっていただければいいと思います。
0:38:17	結果に大きな影響が出ると思わないで、ゴリゴリおる掲載してもあまり意味のある話がないとこちらは判断しています。
0:38:28	今小出さんがおっしゃる説明がそもそも、
0:38:32	この、このキャスクの放熱面というのは、フィーとか、
0:38:36	ほとんどで、この木材に関するところがほとんど熱を逃がすパソナっていうわけじゃないっていうのは、まずその考えが、私たちもあります。で、今ここでちょっと文章が、
0:38:49	読み取りにくいというのは大変申し訳なかったんですけど、意図としては、このような緩衝体の、
0:38:55	変形してなかった角が普通にあるじゃないですか。ここの境界が 38 ですよ。
0:39:00	変形したら変形したところが 38 なんですけど、例えば今その評価点だとちょっと見にくいかもしれませんが、
0:39:08	木材の中で、60° コンターの成果がある。
0:39:14	これ今、僕らの口座の 60 の設定、角が普通に変形してないとき、うん。角野。そこが 38 となった場合は、
0:39:24	この 60 度もないところになります。優先ですけど。
0:39:28	これが仮に緩衝体の木材変形を考慮した場合は、この今青で塗りつぶされているところ、内側が 38 になる。
0:39:35	うん。そうするとこの 60° の線っていうのは、その 38 度、
0:39:40	協会に対してものすごく近くなってしまうので本当はこの 60 度、今回の選定、内側にちょっとずれるはず。
0:39:49	あまり、今、評価点としては 36 度オダ 76 度と書いてある、近く付近の 80 本路線もちょっと内側によると、
0:39:57	お考え。
0:40:00	協会の 38 度、内側に来る。
0:40:03	ちょっとこれが文章だとうまく伝わってないのかなと思って、これはちょっと考えようかと。
0:40:11	いや、ただ、その熱がここで逃げるわけじゃない。
0:40:16	ような設計思想にはないので、
0:40:18	どっちに、そこで放熱

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:22	名の断面積が減る影響と、
0:40:25	今私が考えてるような状況か。
0:40:27	環境との境界、
0:40:29	温度である 38 度の違いに来る影響で、どっちが上かと言われるとちょっと、
0:40:35	自信はない。
0:40:41	今おっしゃったこと、
0:40:44	何となくわかるんだけど、要は 60 度、
0:40:48	と言ってる話っていうのは、容器側の話ですよ。
0:40:53	話よ。容器、容器側っていうか監視、これ木材ナカノンでしょ。そうですね。うん。
0:41:01	要は外が 38 度だったら、はい。表面の温度は先ほどはフィリピンのところでも 70 何度とか、あんな話なんだとか、
0:41:12	高いところは 100 何度とかっていうことになるんだけど、その 100 何度 2 のところが、
0:41:22	ここまで来るっていうことになるのかな。から、
0:41:25	だから、要は、
0:41:27	今回のスタートポイント、どっちがどうかっていうのはさ、今ご説明いただいたところでね、どっちがどうかっていうところあると思うんだけど、
0:41:37	ちょっと今の話は、
0:41:39	すごい、要はその境界っていうそのいわゆる容器の表面の業界っていうところを考えると、
0:41:48	たとえ変形したらね、先ほどおっしゃったようなことになるかどうかっていうのはちょっと今、私の方も自信はありません。
0:41:58	そうですねとかなか言えないって、少し考えてみていただいて、
0:42:08	何分、
0:42:09	要は、
0:42:11	規則上ね、当初一般の試験条件において輸送物について書かれてるんで、その変形、変形するしないっていうことに対しては何らかの研究が必要で、その考え方について、
0:42:22	ある程度物理的に、こう考えてるから、
0:42:27	こうしたんですよっていう。
0:42:28	ことが、
0:42:30	述べられるように、少し
0:42:33	検討いただければと思いますんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:35	先ほどおっしゃったように、
0:42:37	理屈が俺たちは絶対正しいということで、それが理解できる内容であれば、私は構わないと思います。
0:42:50	骨子、ちょっと持ち帰って、うん。あまりづらい。
0:42:56	サイトウ。
0:42:57	タケシタマツモトですけども、
0:43:00	評価してない。
0:43:03	環境温度の位置が大分寄ってくるわけです。
0:43:06	それで、
0:43:07	特に今、このポイントで書いてた温度は、今遠い遠いところで 60 となって、近くに寄ってきたのはきっと下がるが多く言ってんですけど、
0:43:16	多分、おっしゃってるのはその変化がこの
0:43:22	近接防止金網で評価を行ったりして、
0:43:25	どれぐらい、うんそうそうないですよ、そうそうだという、
0:43:30	算建設講師から見た後、あくまでもその最小化側ですよ。
0:43:41	すいません、おっさんこの評価点がですね、持ちました。この下のところの緑の、
0:43:47	昨日、
0:43:49	緩衝体の表面の、
0:43:51	拾ってるんですね。
0:43:53	だから結構、物理的にはおそらくこれ、
0:43:57	地価良くなるところで 38 度の境界が現れてくるので、下がってくるかもしれないの。
0:44:04	だけど、この表面が、
0:44:07	ね。
0:44:09	これがそのまま、この、この等温ストーン先生がその行動言うかな。
0:44:14	ウルリヒ左がずれる方、左側にするようなことに本当になるのかなって感じがしますね。
0:44:20	で、
0:44:21	だから全体のうちでごくごく非常に、
0:44:25	狭い範囲で、全体から考えたらごくごくわずかな領域でっていうことから考えると、
0:44:33	そういう、そういう趣旨で、もう、要は感度がないのかどうかっていうようなところを少し、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:40	ご検討いただいた上で、というところもあると思うので、そういうことを踏まえて、
0:44:46	少し、
0:44:48	ちょっと今みたいな、とあと恩田さんがおっしゃってくれよ。
0:44:52	表面積の。うん。
0:44:53	変化によってカウントしてくるのかっていうのを、魔女この容器の除熱の体系。
0:45:00	何かを、
0:45:01	こうなんすね、考えながら、うん。
0:45:04	説明を補足するようにお願いします。はい。
0:45:11	私の方です。
0:45:24	ほかに、能力評価に使用するケース。
0:45:29	こちらはNRC、米国NRCのCFR71に
0:45:37	45の方に記載。
0:45:45	こちら、
0:45:51	規制庁のサンゴですけど、すみません、この文献に書いてあるこのさん、真壁さんって書いてあるんでしょうけども、その数字とたまたま同じだったのか、それともちゃんと設計の時にこの文献を参照したというのが、何か記録か何かに残っていて、
0:46:06	根拠ですと説明しているのか。
0:46:08	どちらなんでしょうか。
0:46:10	過去の類似設計の審査の際、
0:46:17	同じような活動をしています。
0:46:20	そうすると今回の設計の申請においては、特に根拠を確認しなかったけれども、過去こういう根拠で設計していたから同じ根拠だというふうなふうに発生すると、いや、そういうことでしょうかね。
0:46:31	ええ。
0:46:32	そういうことではなくてですね、設計の時に、
0:46:36	今回申請の際に、
0:46:41	これを継続して使用することができる。
0:46:45	考え、
0:46:49	評価使用したものです。形状サンゴです。ちょっと聞き方間違えてしまってる。類似設計の数字をそのまま持ってきたというふうな聞こえたんですけどそうではなくて、
0:46:58	今回設計を申請する際の、この設計を作った際に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:02	類似設計も参照しつつ、このNRCの文献を確認して根拠を設定したとそういう理解でよろしいですかね。はい。その理解でご説明ありがとうございます。
0:47:20	永野。
0:47:26	7番の構造解析の部分ですけれども、レジンカバーの14Pのレジンカバーの形状発火系である一方で応力計算モデルは、RZモデルの円筒形として評価されている。
0:47:42	実形状床と評価モデルレジンを評価してることの方について説明する。
0:47:49	こちらについては、レジンカバーは通常時及び一般の試験条件時において、中性子遮へい材であるレジンを保持することを目的とする部材です。
0:48:02	過去の試験結果から、レジンカバーのレジンの保持機能が維持されて輸送容器の安全性には影響がないということが確認されているため構造解析モデル上は、
0:48:14	単純に円筒形状をもってモデル化をしています。
0:48:23	はい。次でな。
0:48:26	こちらについても、
0:48:32	丸井設計のとおり
0:48:34	核燃料速度は解析においても、エンドウとして単純化して行ってきたが、本申請においても、その解析手法を踏襲しているものです。
0:48:46	はい、規制庁のホデですけども、
0:48:49	これを確認したいとなんですけども。
0:48:53	実機は矩形形状だということですよ。
0:48:57	円筒、なぜ評価にあたって円筒解析、円筒形状にしてもいいかという、その解析上の12次元、
0:49:07	13次元的なもので実習、実際二次元
0:49:11	2次元形状のものというふうに、
0:49:14	で扱うとしてもよいと考えた理由を、説明していただきたいということ。
0:49:21	です。
0:49:22	この部分を、例えば、円筒の外径の寸法はどうやって決めたのかとかです。
0:49:32	それとか、例えば実際の当該部の支持条件とかです。
0:49:38	拘束条件、
0:49:39	というのが計算上、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:41	出てくると思うんですけども、
0:49:43	そういうことを踏まえて円筒でやっておいても問題ないというふうに、
0:49:49	どう、
0:49:51	円筒でも靖円筒でやっても、適正な評価ができるとした根拠についてちょっと教えてくださいということを聞いたかったんですね。
0:50:06	で、例えば後、
0:50:08	下の話も、落下解析において類似設計の核燃料輸送物の落下解析においてっていうふうに書かれたんですけども、
0:50:18	じゃあこのときに、これでいいと判断した理由なんですかっていうことになってしまいうんですねこうこうこうこういうふうにご説明いただくとね。
0:50:26	ですから、例えば、
0:50:29	述べて欲しかったのは、この部分って、
0:50:33	ちょっと複雑な形をしてんだけども、
0:50:36	複雑な形でいろんなものが、トラニオンとかいろんなもんがあったり、それをトラ逃げるように、
0:50:44	なんていうか、
0:50:46	と、そのトラニオンが真ん中ポコっとう相手でその種類を
0:50:53	揚子江っていうかこのようになんかいろいろ床支持構造物いっぱいいてると思うんですけども、そのモデル上は多分そういうもん多分入ってないと思うんで、
0:51:03	そういうふうなことを考えて、例えば円筒にしても問題ないとかね一つの考え方としてね。
0:51:10	そういうふうな古藤。
0:51:12	が、何かお考えになっていたのかどうかということ、ちょっとお聞きしたかったっていうのがここは、
0:51:19	質問の意図です。
0:51:21	規制庁のサンゴですけどこの参考にしてる文献の中身を少し説明していただければ回答になるん。
0:51:28	ということなんでしょうかね。
0:51:33	県の遊佐真島です。こちらについては
0:51:39	(3)の参考文献の中身については
0:51:46	はい。
0:51:52	実際のエネルギー14P型の模擬試験体を作成して、
0:52:00	そこに熱応力を、
0:52:03	掛ける試験を行っています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:06	そちらについて熱解析、熱解析じゃない、熱応力をかけた実験の結果です ね、レジンカバーの
0:52:16	レジンの保持機能が維持されてたということで、
0:52:21	すまよ、呼び込んでるんですけども、
0:52:26	それはでも、あ、すいません規制庁のホデですけどそれっていうのは、 結局この解析の検証とはちょっと別の問題ですよ、実機自身がこれ がよかったねっていう話だと思うんですね、実機っていうかこの。
0:52:39	類似設計というか、こういうもののこの部分が、
0:52:44	実際の輸送人員かかる熱負荷等に対してですね、健全性が維持できて るところの実験的なアプローチ。
0:52:57	検証、検証というか、確認をされたという、今の内容をお聞きする範囲で はですね、ということだと思うんですけども。
0:53:06	要は、
0:53:08	だから解析がこれでいいよっていう話とは直接繋がらないんじゃないか なと思うんですね。
0:53:17	規制庁さんの方ですけども、その実証試験の結果等、
0:53:21	解析モデルを組むに当たって、
0:53:24	何て言うんですかね
0:53:27	何だっけ。
0:53:28	チューニングじゃなくて、
0:53:31	境界条件等の決定方法や寸法の決定は、
0:53:37	集会とかとかに、リアルなアノナカニシマークでスベン中は、はい、すい ません。
0:53:43	として、
0:53:44	使って、モデルをこう組んでも大丈夫だっていう、何かそういった内容の 説明が入るという理解すればいいんですかね。
0:53:54	原燃千葉ですちょっと
0:53:58	記載方法については持ち帰り
0:54:02	確認させてください。
0:54:06	ちょっと申請書をここにあるんですけども、
0:54:09	こういうところの評価対象としてるわけですよ結局、
0:54:14	こういうところとか、
0:54:16	まさにこういうところとかね。はい。だから、こういうところが、要は、要は 先ほどこで言われてる、保持機能とか何とかというところで、重要だっ ていうポイントであれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:27	ここの評価がこれでいいよという話を、
0:54:31	実際と形状が違うものに対して、
0:54:33	これでいいよってという話、ことをご説明いただきたいなと思います。
0:54:40	はい。承知しました。
0:54:43	はい。
0:54:50	じゃ、続いて、はい、8番目ですけどもこれも構造解析の方で、9メートルの水平落下の方でトラニオンを設置することによる衝撃力が生じる。
0:55:02	一方で9メートルシェラック評価の荷重条件でトラニオンからの荷重が示されているので、この妥当性について説明する。
0:55:10	これトラニオンの設置事象評価については、9メートルの水平落下時によって、
0:55:17	ランニング衝撃力というのは瞬間的かつ局所的に発生するものの、トラニオンがせん断破壊する構造になってるんですけども、
0:55:27	そのあとはトラニオンからの荷重については発生してないと考え、
0:55:32	この上記の事象で、構造としては、
0:55:37	蓋と、
0:55:38	大英作用荷重が最も大きくなるように、
0:55:42	と、
0:55:44	からの荷重が最大となる状態をまず想定して、
0:55:48	また、保守的な評価となるように、最大加速度の方は、トラニオンの設置時の加速度を静的に与えて、
0:56:00	どちらも、実規模モデルといった9メートルの学科試験において、アニオン設置して連携して、
0:56:08	循環的か。
0:56:10	責任とは日本からの荷重が作用してもですね、この上述の荷重条件と境界条件に基づき実施した解析評価値が、
0:56:20	この落下試験の結果としてえられた態度を上回るということが確認されていることから、この荷重条件と境界条件は妥当であると考えております。
0:56:33	はい。
0:56:34	規制庁ホデですけども、
0:56:36	要は、非常に疑問というかそ、
0:56:43	あれと思ったのは、
0:56:45	要は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:46	要は、その荷重の評価ですね、暮らしコードとかね、そういうものを使ってやられてるところっていうのは、
0:56:53	フィンの変形によって与えられる諸力と、トラニオンによる衝撃力と、緩衝体変形による衝撃力っていうかが、
0:57:05	最終形状のものよりも、最終形状で最終的にバーンと来て、一番菅庄田が変形した分が変形したときよりもその瞬時が高い。
0:57:14	という、
0:57:15	結果だというふうにごっち認識してるんですけどね。
0:57:21	であればですね、例えば、
0:57:25	また、この
0:57:27	申請書の、
0:57:29	中に示されてるところの境界条件Ⅱオダ
0:57:37	かな。
0:57:42	これですよ。
0:57:45	はい。この図でね、例えば、このFFっていうのは、どういうFFを与えられたわけですかというのと最大でここ今度来て、ここにFFのその、
0:57:56	その時の日の変形と干渉。
0:57:59	関西だけグチャッと来るようなものっていうのと、
0:58:04	だから、
0:58:05	さっきのFFはですね、その品の荷重ですけども、
0:58:09	トラニオンの衝突、衝撃荷重
0:58:12	を補正して、
0:58:15	フェーンの方に入れております。
0:58:19	あ、まあ何となくわかりますけど、
0:58:22	でいいのかよ。
0:58:26	こちらに、
0:58:31	だから、要は、
0:58:33	この炉小への 38 図によると、ここがMAXというわけですよ。
0:58:40	これよりもこっちの方が高いよつってから、これが一番高くなるよっていう話なんですよ。多分、これを補正、補正というか、品に、
0:58:50	入れ込むようにこれを設定しています。
0:58:55	ただこのときの荷重っていうのは、
0:59:00	でもこの、ちょっと待ってくださいね、この 968 億の加速度にたいが起きますよって、自重のこれだけかかってここにかかりますよっていう話ですよ。で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:10	それと別にフィンガ瘤じゃと来てから、受けてますよっていう
0:59:16	ことですよね。で 986 っていうのは本来は、フィンガー小尾ちゃんをつぶれてトラニオンポツンと当たって、
0:59:23	伊達部長とつぶれて、
0:59:26	土岐。
0:59:27	の荷重と、これが釣り合うでしょ。
0:59:30	ということになります。はい。はい。ということですよね。に、ここで指示条件として与えるのがこれが反力っていうことになると思うんですけどね。
0:59:44	細かい話かもしれないけども、
0:59:49	要は、今おっしゃったことが、これでなぜこれの方が保守側になるんですかね。
0:59:57	そうですね変形量の最大値と、いや、変形量の最大値をここは変形は関係ないでしょ。
1:00:04	維持、この、
1:00:06	こちらの、この緩衝体とフィンの変形量の最大値から高エネルギー吸収エネルギー取ってきてるアリマソネはいいですよ。
1:00:18	理解します。この、
1:00:21	衝撃力の方が、
1:00:23	より、これの最大値とこれの最大値比べてこれの最大値とってるので、
1:00:28	これの方が保守的になる。
1:00:31	これと荷重はね。はい。倉地荷重は、
1:00:35	全体に対して一番、要はキャスク自身が一番その衝撃力とか慣性力として受けるのは、このポイントですよ。ええ。
1:00:44	このポイントの加速度っていうのはこれですよっていうことなんですよ。そうですねはい。
1:00:51	で、
1:00:53	その時に、例えば、
1:00:56	この
1:00:59	どうなんだろう、この
1:01:01	Fなんかな、ちょっとよくわかんないな。
1:01:05	ちょっとこの津波地震が、だから、この荷重と、
1:01:11	ちょっとこのやっぱり違うからね。
1:01:13	要は、
1:01:16	変形量ではないですよ。だから言ってることはね。
1:01:21	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:22	この
1:01:23	これ。
1:01:26	ここ出てきたらいいですよ。結局ね、はいそうです。ここ出てきた値だから、本来であれば、
1:01:33	要は、
1:01:34	これに対してどういうふうを受けてますかったら、緩衝体である程度受けて、コフィンの品がグチャッと潰れるところで、ある程度受けて、はい。受けて、
1:01:44	トライアルがプチッと潰れることで、
1:01:47	受けてる話ですよ。はい。
1:01:50	だからそれを、それをこれ無視して、
1:01:53	これを大きくしたのかこれを大きくしたのかちょっとわかんないけれども、これを大きくし、
1:01:58	これを大きくしてます。これを大きくしたはい。
1:02:05	の方が保守側と。
1:02:09	いえるんですか。ちょっとそこがよくわかんない。
1:02:13	どちらがその荷重なり、その荷重に対する容器、輸送物の応答としてね。
1:02:21	ずれがなければ、そうなのかっていう話になるけれども、
1:02:27	わかりました。
1:02:33	そうですね。
1:02:35	だから、こちらの、こちらが確認しなければいけないなと考えたのは、この図と、このろ紙をA-36で示されてる、この
1:02:45	荷重の分担と、ここの分担が、
1:02:48	違うということで、
1:02:50	要は、
1:02:51	これが何らかのこうなんだけど、
1:02:54	この分担ではこうなんだけど、ここではどのように保守側に考えて、こういうふうにしたっていうふうだね。
1:03:01	説明が一言要と思うんですよ、これで。
1:03:07	これで、要は今まで、
1:03:09	これで説明をされようとしてるわけだから、
1:03:13	外れたところに対して必ずずれてる、ずれずれていったらおかしいですと相違するところに対しては、そういったことの、
1:03:20	に相違するように、自分たちがモデル化オカて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:25	置いた時の要は正当性を説明しないといけないと思うんですよね。
1:03:31	そこをちょっと考えていただければと思います。
1:03:35	わかりました。
1:03:39	はい。私の方が痛かったそこだけですか。はい。
1:03:47	次。
1:03:48	ナンバー9 ですけども、こちらの構造解析で、1717 年度による試験の妥当性、
1:03:57	統計A型B型の違い。
1:03:59	グリッド間隔が、上のほうが長いんですが、全体解析ではないか。
1:04:14	1077 円の代表性はですね、
1:04:20	頭部 9 メーター等規制庁学科と 9 メーター程度垂直学科の試験結果で
1:04:26	燃料集合体の幅の拡大っていうのは、2mm程度とわずかであることからですね曲げによる変形じゃなくて、圧縮変形がトラック接触落下時には主体、
1:04:38	だと。
1:04:39	一方で当SHOEIで燃料被覆管の強度評価してますけれども、1717 年度に比べて 1044 とか 1055 の方が、応力が大きいんですけど、これは、
1:04:51	内圧による応力が 17、17 年度よりも大きい。
1:04:55	ということが考え。
1:04:57	本来の落下衝撃に対しては、なので、圧縮のへんによる応力発生応力を大きくするという観点から、
1:05:08	断面関谷他の燃料タイプよりも小さい 1077 年を代表型式として、落下試験を実施しました。
1:05:19	水平落下については、縮小する結果と、燃料集合体の幅が縮小する結果となっているので、委員会解析の観点では、どれをとっても代表しても問題ないと考えています。
1:05:34	続いてA型B型の違いですけども、こちらは、
1:05:39	定格ツールを装着しない条件でまず、
1:05:44	SRに書いてる試験をやる前にあったんですけども、
1:05:48	その試験の結果、A型燃料のほうがB型燃料の変形量が大きいことが確認できたことから核燃料を使用してます。
1:05:56	こちらなので決めた、底部で確認しまして、東部では、なので浄化物を装着してA型B型の形ですよ。
1:06:06	水平落下の方は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:10	上下部ツール。
1:06:12	燃料集合体の間での荷重条件は軽微であることから定格する装着しない条件の中 77 年を代表する考え方を踏まえて、
1:06:22	SRに記載しています。
1:06:25	あと最後臨界評価で、下部側の浅野角田を考慮して、その妥当性は、当日、実機大スケールの燃料集合体の明石菅君。
1:06:37	ラック方向の最下部ワンスパンが一番拡大変形が大きく、
1:06:44	ということともう一つは東部の方は燃料棒のプレナム部、腰痛、ペレットのない領域が含まれていることから、
1:06:55	プレナム側ない、堤防ワース拡大を考慮した臨界成功なことは妥当であると考えています。
1:07:03	はい。
1:07:05	じゃあ、
1:07:07	規制庁ホデですけども、何かちょっと何点か確認させてください。
1:07:12	まずね、
1:07:16	約今 2mmというご説明いただいたんですけども、要は、
1:07:21	わずかだけど、曲げ変形なんじゃないかなと思うんですねだからあんまりその曲げではなくす垂直つったら、ここ押すだけだから、
1:07:30	垂直で圧縮だったらね、
1:07:33	ということで、ちょっと、
1:07:36	ここの説明は、
1:07:38	これちょっと違うんじゃないかなっていう感じしますんで、
1:07:42	藤。
1:07:44	要は、
1:07:47	何が一番怖いかっていう、その変形のモードとか何とかがっていうのを、いろいろこれまでももういろいろ調べて、鳥かごみたいに變形しちゃうとかですね、ということは
1:07:59	曲がってしまうっていうことですよ結局、
1:08:02	となると、比較対象は、要はその断面積だけで決まる。出荷時じゃなくて
1:08:10	当然、
1:08:12	こうやって曲げようと思うところの、要は、
1:08:15	支持格子間スパンっていうのがね、一つのもう、当然ですよ。座屈する時はその針の長さのアリの長さで梁の剛性、梁っていうか断面の構成によって決まってくるわけだから、
1:08:28	これでやはり比較、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:30	比較していかないといけないんじゃないかなと思いますだから、単に圧縮荷重だけで評価するっていうのはちょっと足りないんじゃないかなと思います。
1:08:45	例えばそれでスパンと、
1:08:49	スパンと断面合成考えて、じゃあどうなのっていうことで、それぞれの比較っていうのは比較的簡単にできるんで、それで何がしの、
1:09:02	検討されたというところと、検討する、それで比較するということと、今回の試験でどれぐらいの裕度があって、前回その事実確認、
1:09:14	前回の事実確認の時に、こちらで示されてる発生ひずみっていうのはそんな大きいもんで、
1:09:20	破断ひずみに対してそんな大きいツツミではなかったっていうことのご説明があったし、この申請書のすごいことが書かれているんだから、その辺を踏まえてですね。
1:09:30	ちゃんと
1:09:33	タイプ 14 とか 15 に対してもですね、評価できるんじゃないかなというふうには考えられるので、少しそういう面で、長さにも着目して、
1:09:45	そのすべての、今回は燃料タイプに対してどうなのかというようなことを、
1:09:54	ちゃんとここで言われてる、その試験と試験、試験に加えて、その考察を加えていただくということをちょっと考えていただきたいなと思います。
1:10:04	A型B型の話なんですけれども、こちらの方で、
1:10:10	一つ目のポチのところ
1:10:13	がた。
1:10:16	と、B型の試験をやったと。
1:10:19	書いてあるのであれば、
1:10:23	例えばここであれば、申請書の中では、なおB型についてはということで、そういう言及があってしかるべきだと思います。
1:10:31	書かれてることが事実というふうに
1:10:36	実際試験やったんだからもう、
1:10:37	偽りのないもんだというふうに思いますので、その結果を明確に書いておくっていうことが重要じゃないかなと思います。
1:10:46	で、
1:10:50	二つ目の個人もそうですね。
1:10:53	これもなおB型についてもなのかもしれませんが、
1:10:57	水平落下についても、同じですねだから、要は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:03	何よりも試験やったってところが強みで、その試験をやったという結果と、
1:11:09	試験やったときの状態ってところを踏まえて、
1:11:16	A型B型も網羅してるんですよと説明の中はね。
1:11:20	1077で一応チャンピオンを1077でやったんだけども、1055とか1414で考えても、これはもう、この結果からすべていえるんですっていうふうなことがね。
1:11:33	その中でクローズできるように、少し、今、今、
1:11:37	手持ちのね、資料の中で、
1:11:39	ここに書かれてることをベースにすればそれで十分に可能だと思いますので、それで、少し充実を図っていただきたいと考えます。
1:11:50	除上部、垂直落下でなくて下の垂直落下というのは、
1:11:57	これで理解しましたので問題ないと思います。
1:12:02	そうしました、SRA、
1:12:05	加来中、
1:12:07	はい。あります。
1:12:13	あと最後、10番、構造解析ですけども、
1:12:19	借家の話で、フランジの接客荷重比率を用いて、14P型の実証として妥当としているが、この
1:12:30	試験体と14P型の構造の違い。
1:12:34	が妥当、この考え方が妥当であることについて補足説明する。
1:12:40	いうことで、
1:12:41	最後に、
1:12:43	示しております。
1:12:48	こちらはですね構造の試験体落下試験体と14P型との構造仕様についてですけども、まず、赤枠部分の赤枠部分、緩衝体等、他プラント部分ですけども、こちら、
1:13:06	同じで、緩衝体入力された荷重が、蓋部と底部伝達される構造ということは、同じで、また密封境界を構成する部分の構造についても、
1:13:19	おんなじ同じ構造、
1:13:21	そのため水平落下を含めた傾斜落下時の緩衝体からの荷重というのは、
1:13:27	フランジを通して負担の幹部から2人伝達するという意味では同じだと考えます。
1:13:32	あと緑色の道具ですけども、同中央部。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:39	落下試験体は一体構造であるので 14P型は、3 層構造。
1:13:45	3 層構造なので一体構造である学科試験体に比べて、断面二次も面等ですノダ面積が、
1:13:55	ちょっと小さいんですけども、同部の 3 層構造部が十分な強度を有しているということは、上の構造解析で確認しているので、
1:14:06	強くあるかわからないが、落下試験体の挙動というのは、胴部の挙動というのは一体構造と変わらないですよと。
1:14:15	あと最後放熱品のオカ部分ですけども、SPの高さは落下試験体と 14P型で違うんですけども、
1:14:25	横切品に入力された荷重が、座屈変形させながら荷重を歩道上传達するという構造がまずおんなじ。
1:14:34	あとはですね等を熱源から荷重が伝えられた胴部の挙動についても、上述の通り、はい。今日、十分に有しているので、
1:14:43	そんな
1:14:45	変わった挙動
1:14:46	を示していない。
1:14:48	結果には影響しません。
1:14:51	ので、以上のことから落下試験形態と、14 ページ、次女子試験の試験体、
1:14:58	を比べても妥当であると考えています。この構造、この説明及び考え方を反映するためにちょっとSRの方は記載を拡充させたいなど。
1:15:12	あります。
1:15:13	すいません、岸次長の方ですけども、
1:15:16	えっとね。
1:15:19	まず、
1:15:22	この教授会をもって 14Pのね、そのいろんな、
1:15:28	先ほどオンダ断面とか形状の違い云々はあるにせよ、大丈夫という花強い。
1:15:34	とはちょっと。
1:15:36	ちょっと違うんじゃないかなっていうふうに考えられます。
1:15:41	要は、今回実施したっていう古藤はね、この試験の結果からね。この形状に対して、この形状、この業者に対して、
1:15:53	密封性とかが担保できる見通しがたっているのも一つあると思うんですけども。
1:15:59	要は、落下試験時、傾斜落下をしたときに、このようなもの、そのNf

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:05	B型輸送容器がどのような動きをするのかなということは、大体、
1:16:13	わかったかなということではないかというふうに、
1:16:16	考えられます。
1:16:19	ですから 14Pの、要は要は安全機能を満たせるよっていう話はちょっと違うんじゃないかなと。
1:16:28	要はどういうことかって例えば 3 分の 1 のスケールモデルで何か言いました似たような非常に簡易なモデルでやりましたっていうふうなね、ことで、例えば落下試験やりましたと。だから、普通はどういうステップで向かってたら、それを、
1:16:42	何らかの解析で、それをシミュレーションしてみて、こういうモデル、こういう評価をやればこれはありますねと。で、それに対して、14Pここ例えば 14P型に置き換えた置き換えて、同じ境界条件なんて何なりで、
1:16:57	同じ考え方に基づいて解析をやっても、こうなりましただから大丈夫なんですよと。なぜならばこのやり方っていうのは試験で確認された方法に基づいてやってますって話だと思うんですよね。
1:17:09	そこの何か間がぼちっと抜けてるような感じがして、あとは剛性費とか何とかっていうふうな話をされてるんだけど、
1:17:17	ちょっとなかなか、説得力のあるシナリオとなってるかなっていうねまだちょっと疑問があるというのが正直なところです。
1:17:26	で、例えば、他動は十分な強度ありますよつったってそれはあくまでも水平落下の評価ですよ。
1:17:35	じゃあ、例えば傾斜落下時それどうなるのっていう話になったそその理屈っていうのは、もう、また、
1:17:42	そこで説明できなくなっちゃうと思う。
1:17:45	というところがあるので、
1:17:47	これもちょっと水平落下で小アノ、それよく見たら最終的に防潮とやってつぶれた形にってるかもわかんないけど、
1:17:55	潰れる履歴って違うと思うから。
1:17:59	それを同じような形で評価するっていうのちょっと、
1:18:03	ちょっと理屈にちょっと飛躍があるかなという感じを、
1:18:08	最後も、
1:18:10	仮に
1:18:13	品の話出たけど、
1:18:16	形状も相違するけど差異はないなんていうことはないはずで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:23	あえてここで言うならば、多分このフィンって、ブツという意味だと思うんですよね。
1:18:28	要は、
1:18:30	高さが高くて、14品で高さが高くて、薄いんじゃないかなと思うんですけども、これが、例えばある別形式のNT型の輸送分Ⅱのものというふうに、先回ご説明いただいたと思うんですけども、
1:18:45	それ、その頻度サイズからいくと、つぶれにくい品の、
1:18:50	サイズかなというところで、要は加重から見たら、
1:18:53	厳し目に行くっていうふうなところの説明になるんじゃないかなというふうな感じがします。
1:18:59	だから、説明するにしてもそれであれば、嘘。
1:19:02	なんかそういう、そういうふうな反力が大きいからこうですよとか、そういうふうな説明を、
1:19:09	するとしてもね、そういう説明になるんじゃないかなというふうに思いますんで、
1:19:15	要は、
1:19:16	せっかくここまで試験やっておられて、
1:19:20	あるんだから、かつ、
1:19:24	類似の設計って多分6種類ぐらいあったと思うんですけども、6種類に共通のね、やり方として成立するような形で、ここ、まず、
1:19:34	突破トップ型でこれきてるわけであればね。
1:19:36	というふうなことを少し考えられた方が、
1:19:41	1回ここで考えておけば他の何件しかは共通のシナリオでね、多分せず、要はこれをベースにして、
1:19:49	展開するっていうことは可能だと思うんで、そういうこともちょっと踏まえてですね、
1:19:55	シナリオをよう確立させるという意味合いです。あってですね、ちょっと
1:20:00	幾つか本当にこれでいいかっていうのはよく考えていただければと思います。
1:20:08	下島です承知しました。
1:20:10	ちょっと、そうですね、マツモトですけど、
1:20:16	確かに全然違う。
1:20:18	複数タイプあります。
1:20:21	この試験体代表性で、
1:20:23	説明をしたい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:26	今いただいたような指摘も踏まえて
1:20:31	見直していきたいと思います。はい。お願いします。
1:20:40	こちらの資料は、ここはですね上ですから、
1:20:44	要は充実と、
1:20:46	14 と、
1:20:47	いってるところで、
1:20:49	基本、要は、
1:20:52	条件を決めたこととそれに基づいて解析したところが、矛盾がないかとかですね、そういうところ。
1:20:59	今回事実確認してあれっと思ったのは、そういうところがほとんどなんで、
1:21:04	そういうところで、要は全体の全体で、ある前提の解析で決めたことそれが次にちゃんと守られてるか、保守側のことやってるかっていうふうな観点で、少し
1:21:16	ここでいろいろ、
1:21:19	今回協議させてもらったところをベースにして、見ていただければと思います。
1:21:25	はい。はい。
1:21:26	これは一応、あと何かあの例のやつとか、はい。
1:21:31	これは本資料でその前、
1:21:38	見せたものです。
1:21:40	その中で、
1:21:43	授業の考え方、
1:21:52	ながら、
1:21:58	表の中にある通知を、
1:22:06	これ、
1:22:08	もあるんですが、注3を考慮しても、なお、先ほども、
1:22:13	何か、その115トンという数字をどう、
1:22:17	計算してもいいし、ちょっと重量の考え方です。
1:22:28	はい。経営者。
1:22:30	こちら、今、忠さんが、そもそもついてて、10例適正重量が3.9と。
1:22:37	との時の授業を記載してます。
1:22:40	で、床の冷却水重量が表中だと4.1になってるんですけど、これは1055燃料とか1044燃料とか1077燃料とか、要は排水タイプが違うものがいくつか収納できるパターンが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:54	その一番、排水体積が小さいが入ったときも、
1:23:00	水の中が、そうですね。で、
1:23:04	ここで 115 トンというのは排水体積が、
1:23:08	小さい、それで 3.9 トンが、
1:23:12	かつ燃料集合体の重量、まあ、
1:23:15	疑ったはずですけど、その時の重量、
1:23:19	ファリティ。
1:23:20	燃料集合体の重量を大きくして水の重量が小さくなった場合、
1:23:26	の重量が最大 10 として書いてますので例えば水野 4.1 と入るのは、燃料タイプは多分確か 1044。
1:23:35	とかになって、燃料集合体の重量が下がるので、この 10、110、
1:23:40	このオク様は、
1:23:43	ことになります。115 になる組ハセガワは、どういったこと。
1:23:48	例えば、これはスキームじゃないですか。大丈夫ですか。11 で書かれている仕事の授業実験には、注釈 1077。はい。はい。
1:23:59	13 ページの 17 歳障害の 3 点。
1:24:05	これ 1070 万 92。
1:24:08	そうですね。はい。そうすると冷却水、4.1 から 3.9 にしてやって計上してやると、ちょっと 115 になるっていうんです。
1:24:17	ちょっと計算したんですけどそれでもなお 115 にならない。
1:24:22	そうですそこがちょっと駐車を考慮したとしても 115 にならない気がして少し、
1:24:27	その部分、
1:24:28	すいません、ちょっと。
1:24:31	振り返りです。3、
1:24:35	変わんないっすよ。
1:24:37	多分、ちょ、115 で 3 とか、
1:24:41	そうです。
1:24:43	ここの表と、どうも麻生アノで、評価条件で 115 トンじゃない。
1:24:52	あ、ごめんなさい、今のちょっと誤りですと 115 トンでほとんど評価条件が 115 トンだよ。
1:24:59	いや、ちょっとこの表から、
1:25:05	何かそういうスタッフがあるのであればそこ。
1:25:08	すいません規制庁の方ですけどね。
1:25:11	これ、類似試設計。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:14	の、かなり前の、ちょっと資料を確認したらね、
1:25:21	の重量ね。
1:25:22	ミイの重量は 9.8 トンかなんですよ。
1:25:26	で、恐らくは、浄化ツールとかね、そういうものを加えて、ふやしたなあ と。
1:25:34	だけど、だけどその分で水抜けるからそれほど抜けない。
1:25:39	当然鉄の塊だから、
1:25:42	というところで、本当に、こういうパターンあるのかなというのが、
1:25:50	いや、
1:25:57	多分、
1:26:02	根拠はあると思うんではい、確認させていただきます。
1:26:06	だからどういうパターンであれば、今大野さん言った話でですね、115 の 組み合わせこうですよとか、例えば、
1:26:16	1077 で上株数入れて、水の重量はこうなりますよってところのね、 内訳なり何なりを、
1:26:28	提示していただくなりして、その上で、ここでこういうパターンがマックス になるので、拡幅云々ですよって説明が必要じゃないかなと思いま す。
1:26:40	で、これは、
1:26:42	なお言えば、垂直釣り時の重量も確かそうだったと思うんですね。
1:26:48	炉小の 4-1 かな、のところ、4-4-4。
1:26:53	吊り上げ装置のところの説明で、
1:26:58	緩衝体に向けただけの重量ってパターンもあれば、
1:27:02	考えようによっては水張前のものでね、蓋は載ってるけれども、蓋は載 ってるけど水はじゃ補助に入ったパターンっていうのは、多分、
1:27:10	重たいパターンもあると思うので、その辺も踏まえてね、その今の、要 は、
1:27:17	1 日後ぐらい。
1:27:19	確かに、
1:27:20	なかなか、たかだか 200 キロ 300 キロの話かもしれないけども、
1:27:25	基本条件になるんで、そこはちょっと、
1:27:30	内訳をちょっとは、つく。
1:27:35	作成したら、いただいた上でね、ちょっと確認いただきたいなと思いま す。
1:27:42	はい。所長しました。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:45	あったはずなので、書いてないですか。そう。これは、
1:27:53	どうぞ。A-3。
1:28:16	事務所の検査、
1:28:19	わかりました。
1:28:21	先ほど、
1:28:24	ちょっと、
1:28:25	今のところですよ。
1:28:27	はい、わかりました。
1:28:35	土俵だと。
1:28:37	例えば、
1:28:40	清丹下が7トンなんですけど、
1:28:42	ニワ 95.5 から7トミイタということ。
1:28:48	設計は、評価条件 10 分+225。
1:28:55	ちょっと最終回だけ。
1:28:58	今の前提ですけど、
1:29:03	こって授業の設計条件、ここだけ。
1:29:07	と違う気がするんですね。
1:29:12	統一されて、
1:29:19	これはちょっと推測も入ってるんですよ。
1:29:21	紹介状ではない。
1:29:24	これだけは5%で評価しております。
1:29:40	おっしゃった。
1:29:41	そのモンマの話で、そうですね。こっからここまでは全部 115。
1:29:50	そうですね、ここは評価条件。
1:29:57	じゃあ、重いので欲しい。
1:29:59	って話になるかもしれない。最初、
1:30:02	それじゃちょっと確認しないと、過去のこのプラスほどは、先ほどこれも少しおっしゃいますけど、持ち上げて、
1:30:12	この後推移してもある程度排出して、
1:30:16	空の状態、開催した輸送する輸送、輸送物として完成した時の従業員の台数が多い状態を設定してきた。
1:30:25	おっしくなってるんだと、水成じゃちょっと考えますが、
1:30:29	ちょっと確認する。はい、わかりました。はい。
1:30:35	瀬下。
1:30:37	ます。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:38	授業に関して、
1:30:40	コンサート残り2、
1:30:42	それから経年の評価。
1:30:56	ローンの
1:30:58	50、
1:31:27	ジンノつま評価。
1:31:31	出社経済 10分待つ。
1:31:34	最後、経年評価した結果、0.47MPa、
1:31:41	こうしますって形最後に言ってる。
1:31:46	一般の試験条件の構造評価のところはどう反映してるかっていうのが、
1:31:53	おそらく、
1:31:54	評価条件のところは、
1:32:03	ました。
1:32:09	オノ受
1:32:12	場所に、
1:32:14	作られる。
1:32:16	その辺の方、
1:32:18	もちろん、
1:32:20	現在、
1:32:27	っていうか、
1:32:36	そうですね。
1:32:39	漏えいの50、200を0.4%。
1:32:45	六ヶ所確か。
1:32:46	4、
1:32:52	出庫
1:32:56	この劣化評価の結果はどうされている。
1:33:00	確かここじゃない。
1:33:01	場所に考慮されてるっていう。
1:33:08	勘案しております。
1:33:19	前年差はシバです。
1:33:23	コール。
1:33:24	ご指摘いただいた構造解析のところは、ここで、
1:33:31	間違いないと思うんですけどもスーチャー。
1:33:35	これ、
1:33:38	ゲージ圧にして丸めてもう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:42	この	
1:33:43	後、	
1:34:06	1、1、	
1:34:10		3475
1:34:14	丸めて拾い上げてるんで、入れてください。わかりました。はい。	
1:34:26	切られる。はい。失礼します。	
1:34:28	わかりました。ありがとう。	
1:34:31	松江所ます。	
1:34:36	は、	
1:34:51	どちらでしょうか。	
1:35:22	これは、	
1:35:23	記載の内容の確認だけなんですけど、	
1:35:29	そうです。	
1:35:31	自然における中性子吸収、遮へい性の低下が考えられると。ただ中性子吸収断面積が小さいことから指導員さんもCLとされているんですが、ちょっとこの内容、	
1:35:43	説明は多分省略されてるんだと思う。	
1:35:47	機会があつてるかどうかを確認したいんですねということを、	
1:35:52	記載されて、	
1:36:01	そうですねまず、減数の事務ですけれどもまず一番最初の方に、	
1:36:10	評価の前提条件としまして金属材料については、	
1:36:16	原資のはじき出しによる照射脆化が生じると。	
1:36:26	はい。	
1:36:30	鉛については修正イシイヨシモトは、再編成の計画、	
1:36:41	鉛についてはですねもう、	
1:36:45	中性子吸収断面関井。	
1:36:48	が小さいので、ここに書いてあること。	
1:36:53	の繰り返しになっちゃいますけれども、	
1:36:55	これ中性子吸収ということは、弾性的なものじゃなくて、	
1:36:59	反応による、	
1:37:00	反応によるナンバーとかを考えてらっしゃると思う。麻生そうですね。はい。	
1:37:07	優秀だんですよ。	
1:37:09	生りーもいくつかどういったやります。	
1:37:12	ある程度、	

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:13	これって、
1:37:15	どの関連クラッシュですか。
1:37:17	次に核種ごとに、
1:37:20	駄目だよ。当然違う。はい。天然素材、それこそ確か、大体 50%25 人以上。
1:37:27	プラスあと数ぐらい。
1:37:31	俺の話をしてるのか。
1:37:33	おそらくNハンマーって、
1:37:37	核種によっては、別にNRが起きたところで鉛になるものがある。
1:37:41	なんかそこら辺を無視したりしてるのかなと思ったりはするんです。
1:37:46	都合。
1:37:49	基準面積が小さいっていうのは、どの話をしてる。
1:37:54	水素監査おそらく今は 208 番だけ残ってるんじゃないか。
1:38:01	そういうことはいろいろと省略されてるんじゃないかと思うんですけどこの文章から、ただそこは読みきれて、
1:38:11	同位体についても、その瀬収集に伴う遮へいの経過というのはどういう反応っていうか、反応だと思うんですが、どういう反応で、
1:38:20	車検制度が下がるってことを想定していて、
1:38:24	それに対して九州駄目小さいカツラアオキスペースって最終的な、
1:38:29	どういった反応を想定してるのかっていう。
1:38:35	九州断面積っていうのは、どの核種に対して、データのことなのか。
1:38:40	それ読み取れないので、いろいろ文書が、
1:38:42	丸め過ぎて、
1:38:44	見えない。
1:38:50	承知しました。
1:38:54	形だけの岩盤を切るとそのあとデータ改善で、他の学習になるんで、その過程でおそらく名前が載っていくっていう趣旨かと思う。
1:39:05	この部署からだけど、そこまで行ってない。
1:39:10	します。
1:39:13	ヨシカワです。
1:39:26	青井さんいいですか。
1:39:28	はい。
1:39:31	私どもが行って、
1:39:33	すいません、規制庁ホデですけども、
1:39:37	200 メーター親戚のところの説明で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:42	この要件っていうのは、密封装置の破損がないことっていうこと。
1:39:47	は、ご存知だと思うんですけども、
1:39:51	炉潮江の団員だな。
1:39:53	そうですね。
1:39:55	ここでいきなりね、いきなり、
1:39:58	中間室を
1:39:59	対象とするっていうふうに書かれてるんですけども、
1:40:06	厳密にはね、評価するのは何かあったら、ここで言うと、ナイトウ等、
1:40:12	ナイトウ等負担と、そこいただき、
1:40:16	バルブなり、なると思うんですね。
1:40:22	だから要は、中間室、理屈も当然理解した上で言ってるんですけども、 中間物は密封装置の外に配布されてるということと、
1:40:33	中間数が破損しないことをもってないと同じく可能というような趣旨のこと、 ということで、要は最終的な結論が、規則に
1:40:44	規則の技術基準に対して、適合してるという結論に素直にいくように、 記載をちょっと適正化してもらいたいなと思います。
1:40:56	バルブについても、当然この容器は、
1:41:01	VIP装置じゃないけどバルブかバルブ自身はバブルカバーに追われて て、
1:41:05	そいつがこういうことはちょっと覚えがないんで、多分その辺の、その辺が 健全だということで説明は可能だと思うんです。
1:41:13	その辺もちょっと記載を少し見直しいただければと思います。
1:41:19	当然 15 メーター親戚のところも、200 メーター親戚の評価をリファーした ような形でやってるんで、要は出てるのは中間角座屈とほぼ蓋のトクシ 開きの話だけの様な感じになってたんで、
1:41:32	要は技術基準上というか、これであれば、要は斜、当然のことなんですけど 破損しないとわかってんですけども、
1:41:41	要は、
1:41:44	密封装置が健全であることっていうことになると思うんですけども、
1:41:48	それも麻痺。
1:41:50	表を出した方、評価したことを変えるのではなくて評価したことをもって、 継続云々というふうな感覚しかし、今言ったような、WEB層ちいの構造 健全性は維持されて、
1:42:02	また口のフチセヒライ口開きもないということを確認していることから、何 とかなってというふうなことになると思うので、少し今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:11	当然その類似設計のキーの表現がそのまま残ってるような形だと思いますので、
1:42:16	少しその辺、
1:42:21	要は、
1:42:22	記述をですね、適正化を図っていただければと思います。
1:42:30	少しいいですか時間あれですけど、
1:42:35	あと15分で15分、15分で、もう時間にする。
1:42:41	えっとね。
1:42:43	ねIIちょっとやっぱあるところ、熱別なんですけど。
1:42:53	要は非常にやはり前回申しあげました通り、非常に、
1:42:58	ちょっと気になる場所ってというのは、最高燃焼度と平均燃焼度とか、ピーキングとかの話ってというのは、前回ちょっとさせていただいたと思うんですけども、
1:43:11	これは、まず、
1:43:13	等、
1:43:16	熱も遮へいも共通かもしれませんが、
1:43:20	考えてたような気もする、いうふうにおっしゃったと思うんですけども。
1:43:25	ナカです。ピーキングファクターは遮へい上は後者以上ね。はい。それで、津川は特にはない。わかりました。
1:43:35	遮へいは考慮されている。だから、
1:43:38	1. 何倍が、
1:43:40	が、要は、
1:43:43	軸方向にフルにあるっていう考え方。
1:43:47	ですか、それとも、中間層の中で考慮されてる段階で生まれて、
1:43:54	私ここはちょっと出てきちゃいました。
1:43:57	あれと同じような感じじゃないもの。
1:43:59	そうですか。はい、わかりました。
1:44:01	一応考慮されてるということですね。
1:44:04	はい。
1:44:05	まず一つ、これで確認。
1:44:07	ですんでね、一つは、今54kWっていう、
1:44:12	設計発熱量あるんですけども、
1:44:17	類似設計の過去の話であれば、
1:44:20	非常に話は簡単だったと思えるんですけども、今は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:27	4万8000の燃料と5万5000の9万5000の燃料と両方使用決まって、かつ、燃料タイプごとに冷却日数が最短低角にするという、
1:44:41	いう話だと思うんですけど、異なってると思うし、要は、最高燃焼度に対する平均燃焼とか、少しずつ数値が違うと。
1:44:50	いう定義の仕方、
1:44:52	になってると、いうふうに思いますんでね。
1:44:55	まず、
1:44:58	ちょっと非常に半複雑化してるような感じがするんですね今ね、スペックが。
1:45:03	ということで、
1:45:06	それぞれ今ケース、タイプ1からタイプ6まであと待機1からタイプロックかな。
1:45:12	特に今、気にしなきゃいけないのはタイプ3からタイプ6だと思うんですけども、
1:45:21	その平均燃焼度平均燃焼度のときの、一反当たりの発熱量で参考で最高燃焼度の発生する1体当たり、
1:45:32	それちょっと教えていただきたいなと思います。
1:45:36	その上で、いかなる場合でも、54キロは超えないよと。
1:45:40	というようなことをちょっと確認させていただきたいと思います。
1:45:47	下です。
1:45:51	もともと寄贈設計、タイプⅢも発電するあって、それを超えないように、逆に進んできたので、
1:45:58	一旦456という、下回っているはずなんですけどちょっと数字までは、
1:46:05	はい。
1:46:07	一番日吉ください。はい。はい。
1:46:10	でね、あとは、
1:46:14	と、
1:46:30	ちょっと参考までに教えていただきたいんですけども、これも過去のね。
1:46:35	過去の類似設計の温度の評価。
1:46:41	から、それぞれ皆、数度上がってるような、
1:46:45	感じがします。ちょっとそういう、
1:46:48	ふうに記憶しているんですけども、
1:46:55	要はそもそもの設計からどこが変わったんかなと。
1:47:02	そもそも小野瀬。
1:47:05	そう。今おっしゃってるのは、例えばね、五つぐらいのところから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:10	変更。
1:47:12	レジン問題とか、
1:47:15	例えば、
1:47:16	昔、
1:47:18	N-Sにとってもあんまりいい思い出じゃないけども、レジンの温度がちょっとどうなったっていう時の話っていうのは、152 度だったんですよ。今 118 となってるんですよ。
1:47:29	全部、大体、
1:47:31	2、3 度かさ上げになってる。可児さん大丈夫。ゴトウ 6 度かさ上げになってるんだけど、
1:47:37	これ事実の確認だけで今これでやってますということであれば、構わないんだけど、
1:47:41	その辺がちょっとわかれば教えていただきたい。
1:47:45	原燃輸送ですけれども、
1:47:49	過去の
1:47:51	熱解析モデルから変更しています。はい。
1:47:59	それによって、
1:48:03	発電する 54 キロワットを買い実施されていても、モデルの変更によって、わずかながらですけれども、ちょっと補正、補正というかですね。
1:48:14	はい。
1:48:15	違いが出てるという、うん。
1:48:19	はい。これについては、PWR、BWR両方ですけれども、実測値がありますので、我々の方、それに基づいて最適化を図っているので、
1:48:33	また、
1:48:34	そのティピカルのところでもいいですから、どこ、どこを変えられたのかわるのはちょっとまた参考までに、ご教示いただければと思います。わかりました。
1:48:46	あとは、
1:48:51	今回、ところ、類似の設計では特記事項に書かれてたもの、最低温度の評価ですよ。
1:49:00	要は、ナカノ水が凍結しない条件のものっていうのは、
1:49:06	昔は色は何か、2 章かなんかで、
1:49:10	書かれてたと思うんですけども、
1:49:17	これのね。
1:49:19	この評価の保守性をちょっと 1 回、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:22	いろいろ申請書の方にいろいろ書かれてるのは、理解しています。ちょっとこれ、ちょっと次の機会、ご説明いただきたい。
1:49:35	気をつけなきゃいけないのは、
1:49:38	要は普通の最高温度出す時と逆の方向でやらないと保守側にならないってところがあるんで、そこをちょっとキーにちょっと教えていただきたいんです。
1:49:50	そういう意味ですね。そういう意味で、何か、
1:49:53	現実がコモリやすいモデルと放熱しやすい。そうそうそうそうしやすい。はい。
1:50:02	刀禰阿藤は、
1:50:07	これと、
1:50:10	あと、
1:50:18	フッ素ゴムのね、最高運動。
1:50:22	300度って書かれてるんですけど。
1:50:30	昔からの
1:50:33	参考文献は、附属複合材料技術修正だっていうのは理解した上で聞いておりますけども、
1:50:40	複数のやはりいろんな、
1:50:45	複数の、例えば5メーカーのカタログとか技術資料ですよ。これ含めても300度のって、多分ないと思うんですね。
1:50:56	要は、
1:51:01	短期と長期っていうことで考えて短期であればこれぐらいもつかもされないけども、特に、
1:51:08	この輸送物の場合は、要は一般の試験条件と時にはこの超勤時で耐火試験時には短勤退所満足してりゃいいという話で、だから今、今のやつはこれ持たないとはちょっと思っていないんですけども、
1:51:22	その辺は少し適正化を図られた方がいいんじゃないかなと。
1:51:25	というふうに、
1:51:27	見えます。一応、
1:51:33	ものものに複数のやつは、大体通常時、長期のものであれば200度、
1:51:40	というのが割と多くあったような感じもしますので、その辺ちょっと確認。
1:51:45	最新のデータっておかしいですけども、アップデートされた方がよろしいのではないかなと考えます。
1:51:56	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:58	あとは、
1:52:03	ここのね、吉尾Bの 20、23 票かな。
1:52:09	23 というところで、
1:52:13	これは昔の言い方のままだと思うんですね、通常時と、13 の紙、試験条件っていうふうにかかれ、
1:52:19	出るんですね。
1:52:20	だけど、
1:52:22	陰で、85 度以下専用積載で 85 度っていうのも、一般の試験条件に置いた輸送物についてという
1:52:33	規則上そうなってますって、
1:52:36	これは例えば一般の試験条件の日影の条件とかね、一方は、一般の試験条件の日向っていうふうなことで、括弧してたとえ運搬中に想定される輸送物の最高温度とか何とかっていうのが、
1:52:50	多分それが本当だと思うので、それ、ちょっとそういうふうに適正化された方がいいんじゃないかなと思われま。
1:52:58	で、二つがちょっと、
1:53:01	今まではちょっとメリットの話がほとんどだと思うんですけども、
1:53:05	二つちょっと教えていただきたいのは、先ほどの変形するしないの話で、こちらも定性的なところでも、
1:53:16	ある程度定性的なところでも結構だと思うんですけど、
1:53:19	耐火試験って、
1:53:21	ピンの変形なしにして評価していること。
1:53:28	これが最終的に保守側だっていうことを何、何がし説明してもらいたいと。
1:53:34	要は、
1:53:35	えっとね。
1:53:37	耐火入熱はフィンがない方が保守側かもしれない。変形がない報告違うかもしれない。
1:53:42	冷却過程だったら込む方向だから、特に時間遅れがあるようなもんもあるんで、そこについて、今の考え方が妥当ですよっていうことを、何がし、
1:53:57	ご説明いただきたいなど。
1:53:59	明日、
1:54:02	で、
1:54:03	もう一つが、先ほどから出てるないやつの話なんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:10	内圧評価における保守性ということで、
1:54:15	この口所Bの4ポツ4とか5ポツ4とかに書かれてているんだけど、
1:54:22	構造評価で、要は、設計圧力をつくを使用して、構造強度評価がなされてることは理解しています。
1:54:33	それはそれで問題ないと思います。要は、昔ながらの考え方で日通解析の考え方なんだけど、ここは従前えられたものがそのままというふうにして、
1:54:43	やってるんだけど、やはりそこにもなにがしやっぱ保守性っていうのはね、
1:54:49	ダイレクトに出てきたらこうなんやというものの、内部評価そのものに何がし残しては、必要じゃないかなと思います。
1:54:57	で、ちなみに、特別の試験条件の時には、内装熱膨張を考えたら売ってるかなっていうふうなことも、
1:55:04	書かれて、
1:55:05	実際そこで獲られた計算結果に対してやるよと。
1:55:09	なんですけれども、
1:55:15	一般の方がね、
1:55:16	いまいちその辺の余裕がちょっと見見切れないなど。
1:55:20	いうふうに思います例えば一般の試験条件では、最低温度条件で二つ目した場合は、5%程度の圧力上昇があるということで書いてしまって、
1:55:32	言えば、結局密封解析で使用する圧力っていうのは、それを下回ってるっちゃう話になってしまうので、
1:55:42	ちょっと全体としてのね、保守性を、の維持という観点で少し
1:55:48	気になる。
1:55:49	ちょっと十分じゃないかなというところがあるので、この、例えば一般の試験条件炉心Bの4-4で説明されているところの保守性、
1:56:03	なにがしちょっと説明いただきたいなと思います。
1:56:06	で、
1:56:08	もっと言いますと背景言いますと、先ほどの、
1:56:11	先ほどの14の燃料を入れて、
1:56:17	17の発熱量ですよっていうことであれば、
1:56:21	それが、それがこの今のこの申請の範囲で考えられるか、それが総合適用できるかどうかっていうところが一番大きい問題です。
1:56:31	というのは、要は1044の5万5000の燃料っていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:35	明確に曾我と短くしてるから、しかも、社内解析における岩盤の線源強度見たらこいつが一番高いということになると、これがもしかしたら熱のチャンピオンじゃないかっていう、ちょっと疑義があります。
1:56:48	そういうことがないという話であればそれはそれを説明していただければいいですし、
1:56:54	だから今で言う、
1:56:55	何日冷却っていう決められてて、1077とか1055に比べてぐっと、例えば200日前後短かったような、今申請なってると思うんですけども、
1:57:07	その冷却系のターンが逆にこういうところに幸せが来てないかっていうことなんかも、
1:57:15	だから、その理屈で、例えば発熱は1077がチャンピオンですよと、ナカ1044-1044-1044の水を使っ
1:57:25	た考え方がチャンピオンですよっていう考え方に基づいてますっていう話であれば、それをそれで定量的に示していただければ結構です。
1:57:34	諏訪以上かな。
1:57:44	はい、わかりました。
1:57:48	ここでお答え、いや今答えなくていいかもです。もう時間ないです。わかりました。はい。
1:57:55	ご用意させていただきます。はい。
1:58:21	遮へいはちょっと、規制庁ですけど遮へいはピーキングファクターを考 えられているということで、
1:58:38	遮へいもだからちょっと大きいというところ危機みたいな話をちょっとさし てもらいますと、
1:58:46	今資金のいろんな申請ってご存知だと思います。兼用キャスクとかいろ いろあると思いますけども、
1:58:55	この容器も平均燃焼度ベースの下、平均燃焼度がベースになって、要 は収納物管理がされるわけですけども、
1:59:04	多分遮へいは全部平均燃焼度だっという考え方でやっていると思うん ですけども、今の、例えば、あっちの方、兼用キャスクとか何とかって いうのは、センター高井において、周辺に平均オクとかですね、そういう 考え方とか、
1:59:22	今進めて、
1:59:25	いると。
1:59:26	そういう定義の仕方をしてるということなんですけども。
1:59:30	これで今平均でやってることで、全部カバー、カバーしうる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:35	網羅できるということをちょっと説明はしていただき、お願いしたいと思います。
1:59:41	だからセンターに高いのを置いたとか、その熱解析上の熱、除熱上の、要は配置制限っていうの今出てますけども、
1:59:51	例えばそこに合わせて、何か入れた場合に、何か悪さをするかしない。
2:00:09	すいません。
2:00:11	私の方は以上です。
2:00:25	僕は、あれとレジャーからいいですか、何かありますか、の方。
2:00:31	特に、
2:00:32	どうでしょうか。
2:00:39	本当は先ほどの
2:00:42	なやつの考え方の、その節性について答申いただければ、
2:00:55	規制庁サンゴですけれども、ニッサカさんの方から何かございますか。
2:01:04	伊勢田です。特に大丈夫ですというより、あれですよ。今日 3 時半まで予定をすみません今時間超過してますけど、やっぱり次回を、
2:01:14	ヒアリングやるっていう予定ですよ。
2:01:19	買い取りをして説明する場は必要かなと考えてます。そうですね。
2:01:25	多分今この場で回答してもらっても、資料的に文章とかそういうのが練られてないとまたそれを確認しなきゃいけないので、
2:01:35	もう 1 回やらないといけないかなと思います。
2:01:40	はい。おそらく、今回いただいた資料のように、
2:01:45	また我々から問いかけた質問に対して、また回答をちょっとまた、比較表みたいいただくっていう多分形がいいかなと思います。はい。以上です。
2:01:59	はい。
2:02:01	原燃輸送側から何かありますか。
2:02:06	いや、特にね、マツモトヒトミないです。はい。
2:02:12	規制庁サンゴですけれども、
2:02:15	回答の準備のめどって今立ちますか。
2:02:21	目安としての手話を除いてその翌週の 21 の週ぐらいでしたという話を持っての方にその週の末ぐらいが提出できるよう、
2:02:32	したいと思ってるんですけど、都合が悪ければそこは避ける。
2:02:37	規制庁サンゴですけども、
2:02:40	そう遅いような気はしますけれども、そういったスケジュール感で申請者側が、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:47	やっていきたいというのであれば、
2:02:56	何かを言うたことはできないのかもしれませんが、早くできれば、そうそうしますけど、特に
2:03:07	本とか、休みとかそういうのは、我々の方、
2:03:11	荒木にするようなことではないのでよろしいですか。
2:03:16	どうですかね。
2:03:17	ただ、いない人もいますのですよ、私のときは。
2:03:23	じゃその時言ったわけですよ。
2:03:26	また、ちゃえ。目標としては今みたいな感覚で置いてますけど、別途その進捗に応じてご相談します。
2:03:36	日程調整の方で、
2:03:39	お願いできたら、はい。
2:03:44	はい、わかりました。
2:03:47	それでは本日の原燃輸送株式会社との面談をこれで終わります。
2:03:52	どうもありがとうございました。どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。